平成25年5月

セブン銀行




# 平成25年3月期決算説明資料

| | | | |
|---|---|---|---|
| ハイライト | 2頁 | 財務の状況 【単体】 | 9頁 |
| 損益状況 【単体・連結】 | 3頁 | 配当政策 | 10頁 |
| 損益状況 【単体】 | 4頁 | 今後の取組方針 | 11頁 |
| ATM利用件数と受入手数料単価の推移 | 5頁 | ATM事業の拡充 | 12頁 |
| ATM台数と平均件数の推移 | 6頁 | 海外送金サービスの早期収益化 | 15頁 |
| ATM提携先の拡大 | 7頁 | 海外展開　FCTI関連 | 16頁 |
| 新サービスの状況 | 8頁 | | |


※決算発表資料は、当社Webサイトからもご覧いただくことができます。
（http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/）


本資料には、株式会社セブン銀行、及びその連結子会社の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ＡＴＭ事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社、及びその子会社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

セブン銀行

## 【 2012年度決算（単体）】

- 経常収益（941億）、経常利益（320億）
  ともに計画を上回り、11年度に続き増収増益
  - 設置台数は18,000台を突破
  - ノンバンクの利用件数は底打ち、緩やかに回復
  - 海外送金件数は年間18万件を達成。ローン残高は33億円
- FCTIを買収、北米でのATM運営事業を開始
- 配当は、期末0.25円の増配含め3.50円、年間では6.75円

## 【 2013年度の見通し 】

- ATMビジネスの更なる拡大、新サービスの成長により、増収増益見通し
  - ATM設置台数は約19,300台。利便性、安全性を更に追求
  - 海外送金、個人向けローンサービスを新たな収益の柱に
  - 会計方針（減価償却方法）変更の影響を除いても単体ベースで増収増益となる見通し
- 配当は0.25円増配し、年間配当7.00円とする予定
- 連結決算は経常収益1,000億円台となり、増収増益を目指す

© 株式会社セブン銀行

# 損益状況 【単体・連結】

《 セブン銀行単体 》 （単位：億円）

| | 12年度通期実績 | 13年度計画 通期 | 13年度計画 上期 |
|---|---|---|---|
| 経常収益 | 941 | 990 | 496 |
| 経常費用 | 620 | 635 | 317 |
| 経常利益 | 320 | 355 | 179 |
| 当期純利益 | 195 | 214 | 110 |

《 連結 》 （単位：億円）

| 12年度通期実績 | 13年度計画 通期 | 13年度計画 上期 |
|---|---|---|
| 949 | 1,041 | 518 |
| 630 | 694 | 343 |
| 318 | 346 | 174 |
| 193 | 207 | 105 |

注1）計数は全て表示単位未満切捨て
注2）12年度通期連結決算には、FCTIの連結対象期間（2012年10月6日～2012年12月31日）のみ連結
注3）連結決算、計画の為替レートは、2012年度決算を1米ドル＝81.25円、2013年度計画を同92.00円にて換算

© 株式会社セブン銀行

# 損益状況 【単体】

（単位：億円）

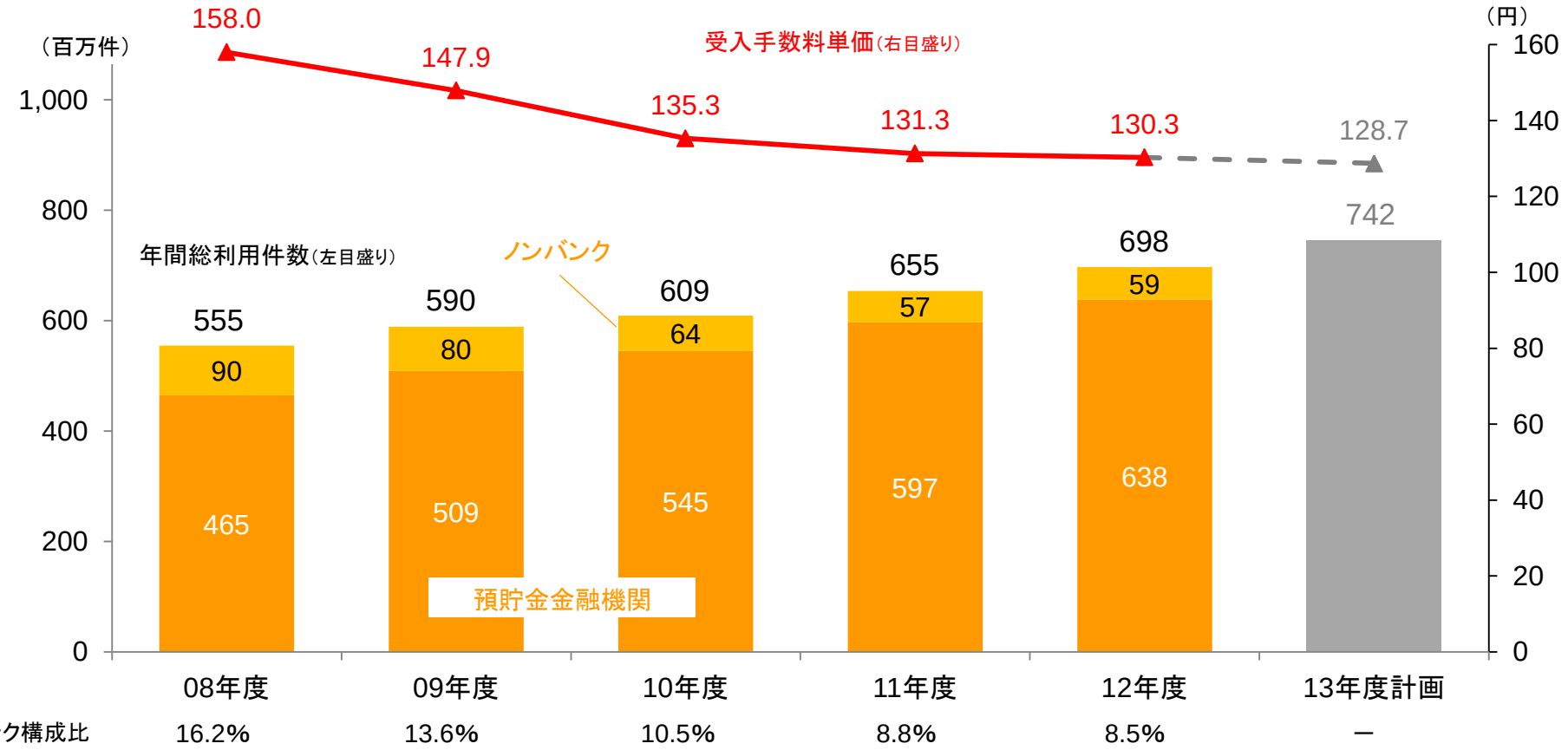
| | 11年度 通期実績 | 12年度実績 通期 | | | 13年度計画 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 修正計画（2012年11月） | | 前年差異 | 通期 | 前年差異 | 上期 | 前年差異 |
| **経常収益** | **883** | **938** | **941** | **58** | **990** | **49** | **496** | **29** |
| うちATM受入手数料 | 838 | 888 | 888 | 50 | 935 | 47 | 470 | 28 |
| **経常費用** | **587** | **633** | **620** | **33** | **635** | **15** | **317** | **15** |
| うち資金調達費用 | 19 | 15 | 16 | △ 3 | 18 | 2 | 10 | 3 |
| うちATM設置支払手数料 | 99 | 107 | 106 | 7 | 115 | 9 | 57 | 5 |
| うち業務委託費 | 150 | 160 | 158 | 8 | 171 | 13 | 87 | 10 |
| うち保守管理費 | 42 | 40 | 39 | △ 3 | 40 | 1 | 20 | 0 |
| うち土地建物機械賃借料 | 10 | 8 | 9 | △ 1 | 6 | △ 3 | 3 | △ 1 |
| うち減価償却費 | 123 | 141 | 138 | 15 | 129 | △ 9 | 60 | △ 2 |
| **経常利益** | **295** | **305** | **320** | **25** | **355** | **35** | **179** | **14** |
| 特別損益 | △ 2 | △ 2 | △ 5 | △ 3 | △ 9 | △ 4 | △1 | 1 |
| 法人税等合計 | 120 | 115 | 119 | △ 1 | 131 | 12 | 67 | 5 |
| **当期純利益** | **172** | **187** | **195** | **23** | **214** | **19** | **110** | **10** |
| 期末ATM設置台数（台） | 16,632 | 17,700 | **18,123** | 1,491 | **19,300** | 1,177 | 18,600 | 1,270 |
| ATM受入手数料単価（円） | 131.3 | 130.0 | **130.3** | △ 1.0 | **128.7** | △ 1.6 | 129.4 | △ 0.9 |
| 平均利用件数（件/台/日） | 112.6 | 111.5 | **111.1** | △ 1.5 | **109.4** | △ 1.7 | 110.9 | △ 1.8 |
| 総利用件数（百万件） | 655 | 699 | **698** | 43 | **742** | 44 | 371 | 24 |

注1） 計数は全て表示単位未満切捨て
注2） 前年差異は億円単位（総利用件数は百万件単位）で比較

© 株式会社セブン銀行

# ATM利用件数と受入手数料単価の推移

- 総利用件数は前年度比　＋6.5%の698百万件
- 預貯金金融機関取引 ＋6.9%、ノンバンク取引　＋3.0%

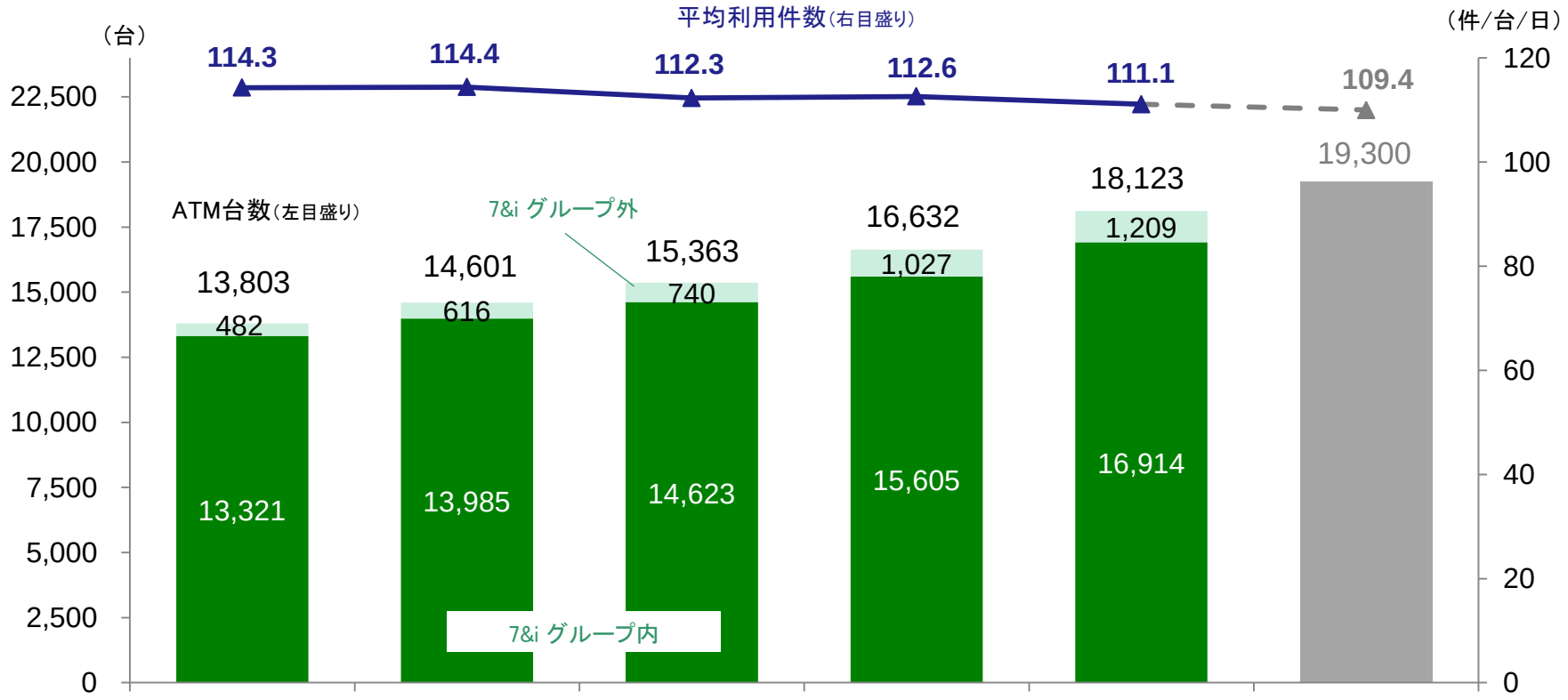



注1）総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
注2）計数は全て表示単位未満切捨て
注3）ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷（総利用件数－ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>）で算出
注4）本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社等の合計

© 株式会社セブン銀行

# ATM台数と平均件数の推移

- ATM台数はグループ内外とも順調に増加
- 13年度は純増約1,200台。第3世代ATMは、新設・入替含め約5,000台増加




| | 08年度 | 09年度 | 10年度 | 11年度 | 12年度 | 13年度計画 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 純増台数 | + 771 | + 798 | + 762 | + 1,269 | + 1,491 | + 約1,200 |
| 第3世代台数（期末） | ー | ー | 206 | 2,897 | 7,797 | 約13,000 |

注1）平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
注2）計数は全て表示単位未満切捨て

© 株式会社セブン銀行

# ATM提携先の拡大

- 2012年度は、10行と提携開始
- 2013年度は、6行と提携予定。未提携行は9行

| 2012年度　提携開始 | | | 2013年度以降　提携開始 | | | 未提携 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 百十四銀行 | （香川） | 2012年5月 | 四国銀行 | （高知） | 2013年4月 | 地銀　7行 |
| 西日本シティ銀行 | （福岡） | 2012年5月 | 伊予銀行 | （愛媛） | 2013年4月 | その他　2行 |
| 北都銀行 | （秋田） | 2012年5月 | 愛媛銀行 | （愛媛） | 2013年4月 | |
| 池田泉州銀行 | （大阪） | 2012年8月 | 高知銀行 | （高知） | 2013年4月 | |
| 香川銀行 | （香川） | 2012年10月 | 三重銀行 | （三重） | 2013年4月 | |
| 徳島銀行 | （徳島） | 2012年10月 | 島根銀行 | （島根） | 2013年秋 | |
| 大垣共立銀行 | （岐阜） | 2012年11月 | | | | |
| みちのく銀行 | （青森） | 2013年1月 | | | | |
| 富山銀行 | （富山） | 2013年1月 | | | | |
| 阿波銀行 | （徳島） | 2013年2月 | | | | |

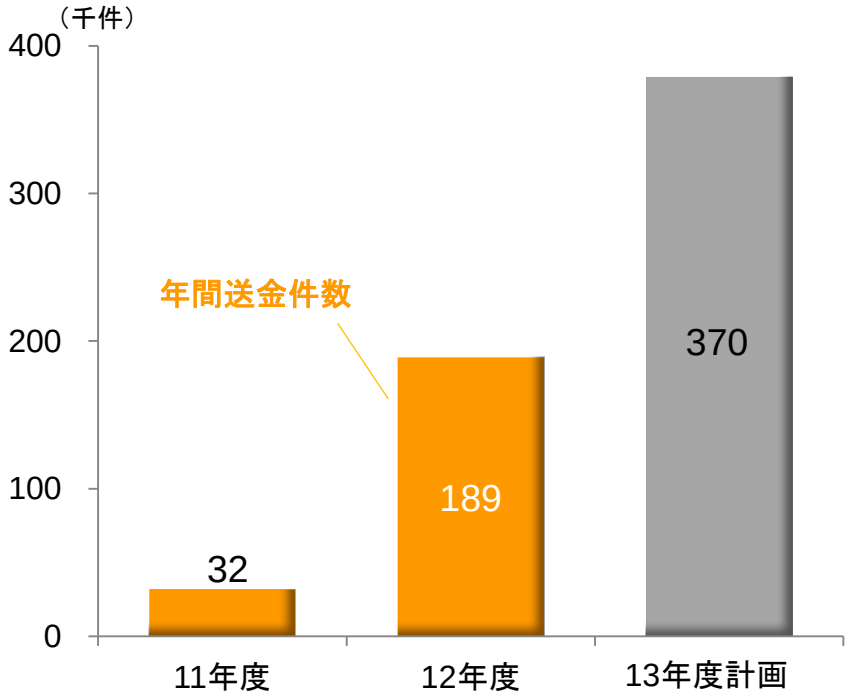
© 株式会社セブン銀行

# 新サービスの状況

## 海外送金サービス

・12年度は、イベント活動等や多言語化対応を実施
・当面の目標である送金件数年間100万件（収益規模20億円）に向け新規顧客獲得に注力

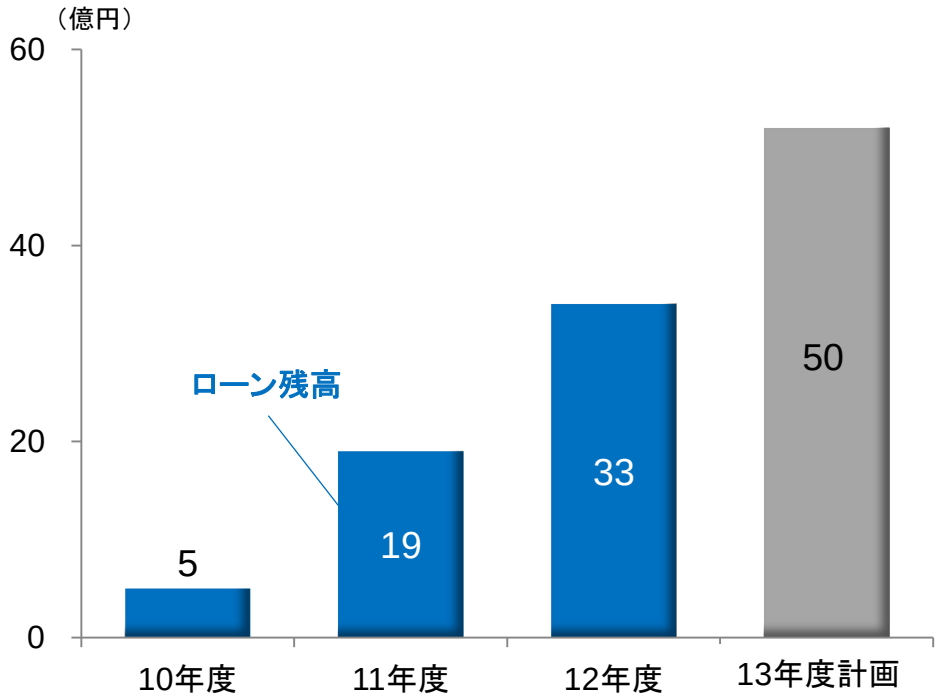
13年度目標件数　：　370千件




## 個人向けローンサービス

・低コストで効果的な顧客アプローチにより
　ローン残高は着実に増加
・当面の目標はローン残高80億円（収益規模12億円）

13年度目標残高　：　50億円




© 株式会社セブン銀行

# 財務の状況 【単体】

## 貸借対照表（2013年3月末）

（単位：億円）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 現金預け金 | 4,718 ① | 預金 | 3,943 ④ |
| 有価証券 | 836 ② | 社債・借用金 | 1,730 |
| ATM仮払金 | 1,749 ③ | ATM仮受金 | 617 ⑤ |
| | | その他 | 432 |
| その他 | 791 | 純資産 | 1,370 |
| 資産 | 8,094 | 負債＋純資産 | 8,094 |

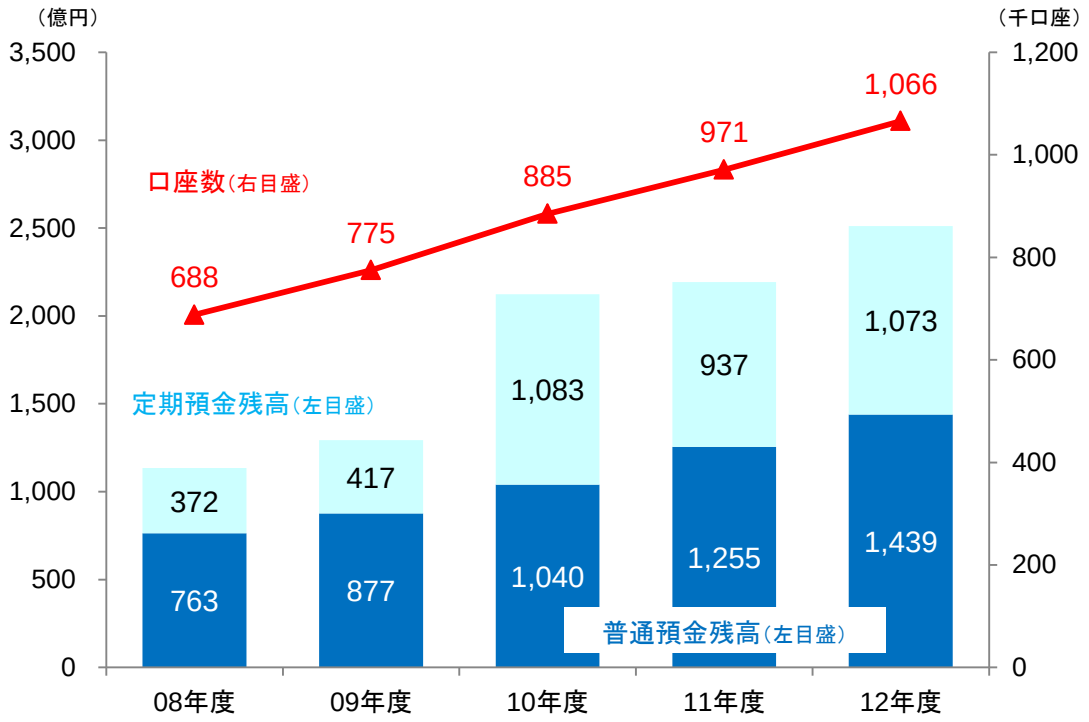
①主にATM装填用の現金
②主に為替決済、日銀当座貸越取引の担保
③ATMの出金に伴い一時的に発生
④うち個人預金：2,512億円、法人預金：948億円
⑤ATMの入金に伴い一時的に発生

注) 表示単位未満切捨て

## 高い財務健全性と信用力

| | | |
|---|---|---|
| 単体自己資本比率（国内基準） | 50.13% | （速報値） |
| 格付（2013年3月末現在） | S&P AA- | （長期発行体） |
| | R&I AA | （発行体） |

## 個人の口座数と預金残高の状況



# 配当政策

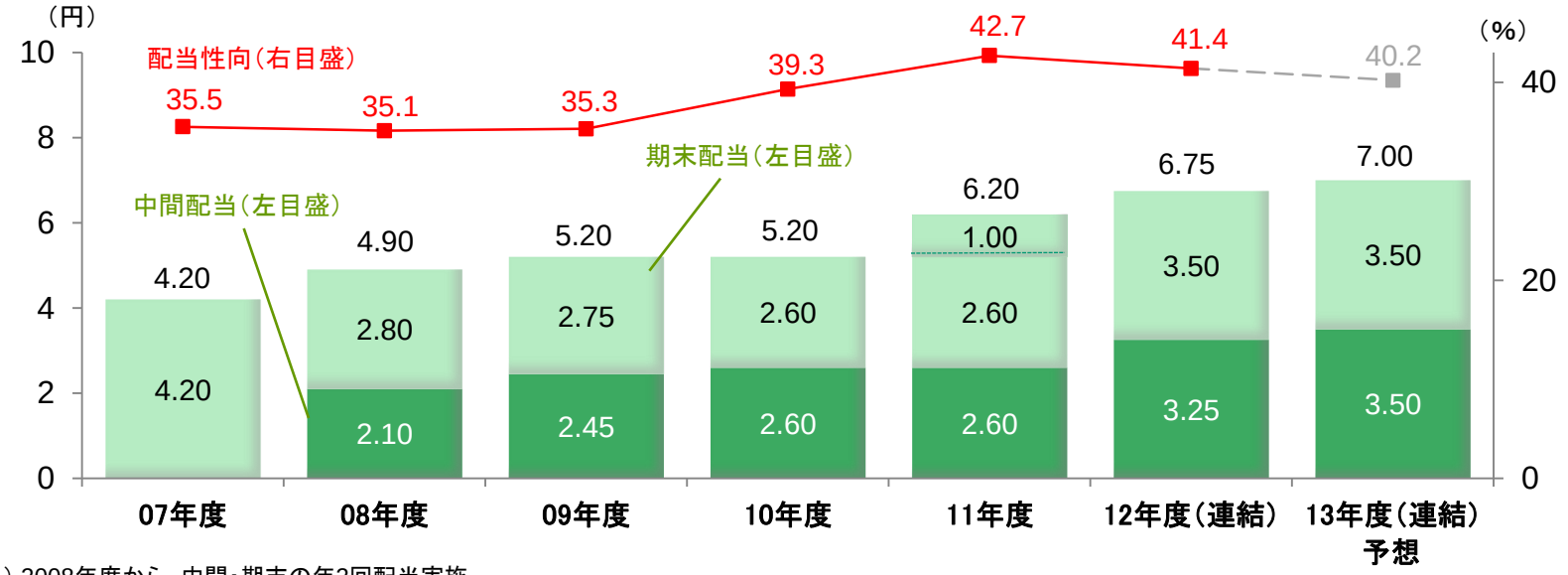
## 方針

継続的な安定配当の実現を目指し、連結配当性向は年間35%を最低目標に、年2回配当を実施

## 配当実績・予想

12年度　：　期末を3.50円に引き上げ、中間と合わせ年間6.75円（配当総額80億円）の配当
13年度　：　中間・期末ともに3.50円、年間7.00円（配当総額83億円）の配当を行う予定

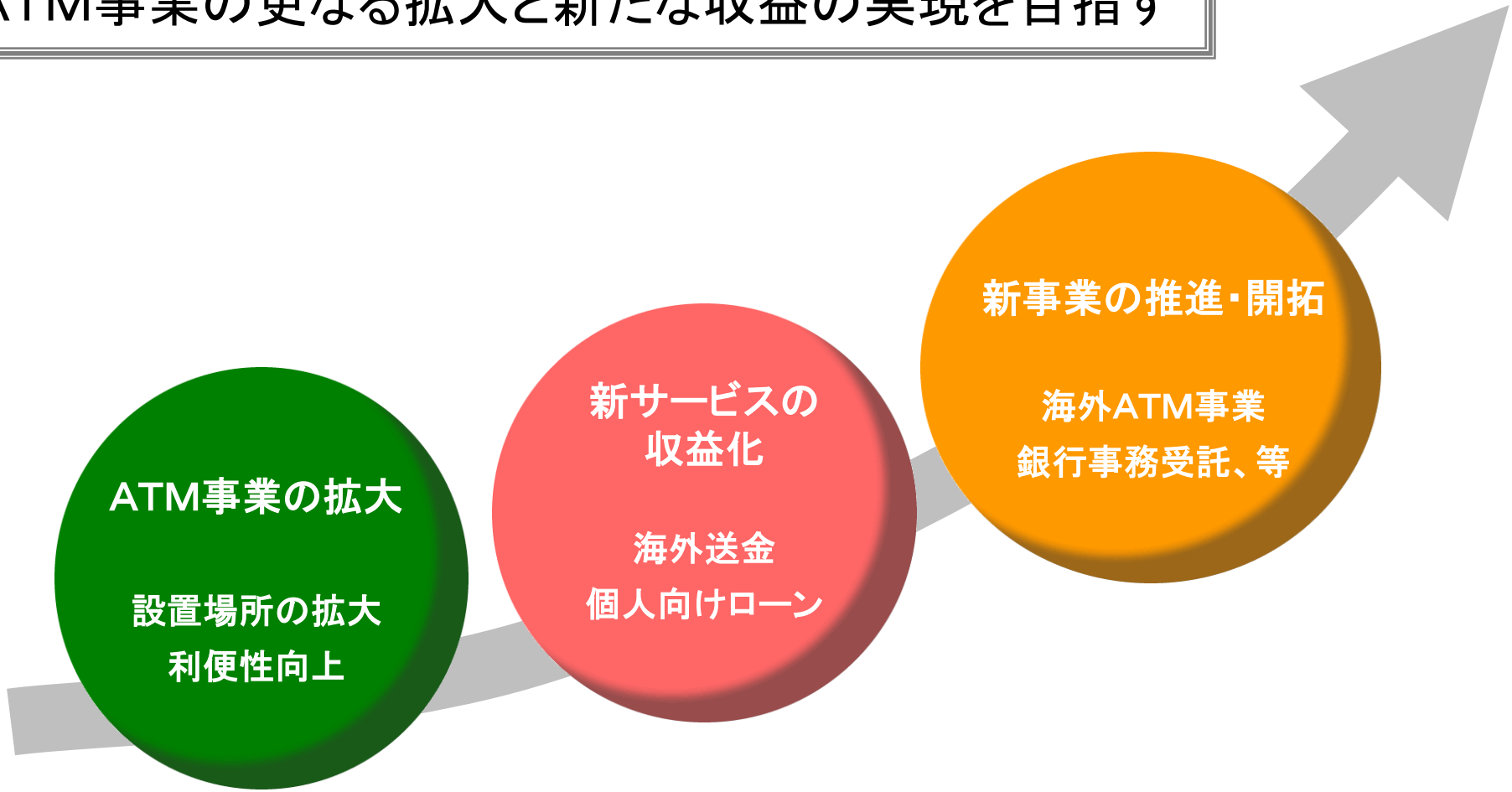
## 配当金、配当性向の推移




注1）2008年度から、中間・期末の年2回配当実施
注2）2011年12月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施しており、上表は、過去の配当についてもこの分割を反映して計算したもの
注3）2011年度は期末配当に1.00円の東証上場記念配を上乗せ、2012年度は期末配当に0.25円増配

© 株式会社セブン銀行

次の10年に向け、
ATM事業の更なる拡大と新たな収益の実現を目指す

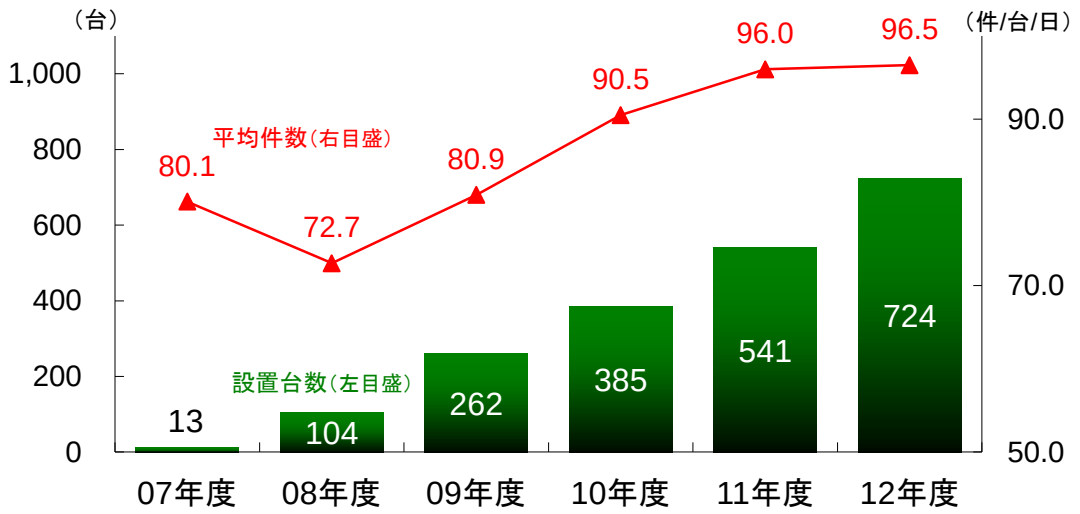



© 株式会社セブン銀行

# ATM事業の拡充①

## グループ外設置（除く証券会社）の拡大

《期末設置台数・期中平均件数の推移》




《設置場所の内訳》

（単位：台）

| | 07年度 | 08年度 | 09年度 | 10年度 | 11年度 | 12年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 空港 | 9 | 22 | 30 | 30 | 33 | 36 |
| 駅・交通系 | 1 | 24 | 61 | 71 | 84 | 98 |
| 商業施設 | ― | 32 | 115 | 196 | 298 | 417 |
| その他 | 3 | 26 | 56 | 88 | 126 | 173 |
| 合計 | 13 | 104 | 262 | 385 | 541 | 724 |

## 主なグループ外設置事例

セブン-イレブン等での運用実績を反映し、
様々な設置ニーズに対応して拡大



**JR東京駅丸の内北口（外貨両替所内）**

・海外発行カード対応など強みを発揮



**東京メトロ（8駅）**

・複数の商業施設を保有する企業や主要交通機関へアプローチすることで大口設置を実現

**東京ソラマチ・渋谷ヒカリエ**

・話題の新観光名所スカイツリーに隣接する「東京ソラマチ」、渋谷に開業した大規模商業施設「渋谷ヒカリエ」にそれぞれ設置

© 株式会社セブン銀行

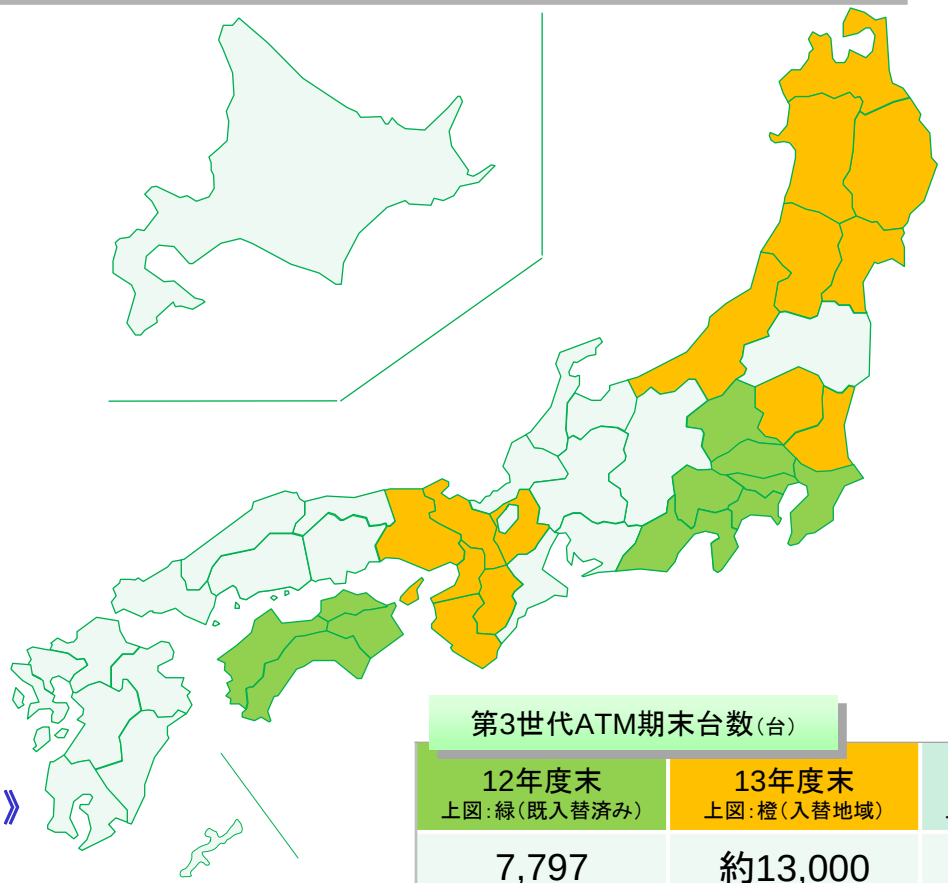
# ATM事業の拡充②

## 第3世代ATM入替により更なる利便性の実現

- お取引時間短縮や省電力化等、お客さま・社会のニーズに適合したATMの積極展開
- 2013年度で第3世代ATMが過半へ、2015年度で入替完了予定




《 第3世代ATM 》



第3世代ATM期末台数（台）

| 12年度末<br>上図：緑（既入替済み） | 13年度末<br>上図：橙（入替地域） | ～15年度末<br>上図：薄緑（入替地域） |
|---|---|---|
| 7,797 | 約13,000 | 全国完了予定 |

## 安心・安全面の追求

- ICカード取引を海外発行カード等に拡充予定（国内銀行取引は対応済み）
- ATMの異物検知システムやモニタリングシステムの開発・導入

**あらゆる犯罪利用を断固阻止していくATM を徹底追求**

© 株式会社セブン銀行

# ATM事業の拡充③

## 分かりやすいATM画面

① 文字の大きさを **1.5～2倍**

② 文字は **短く簡潔に**

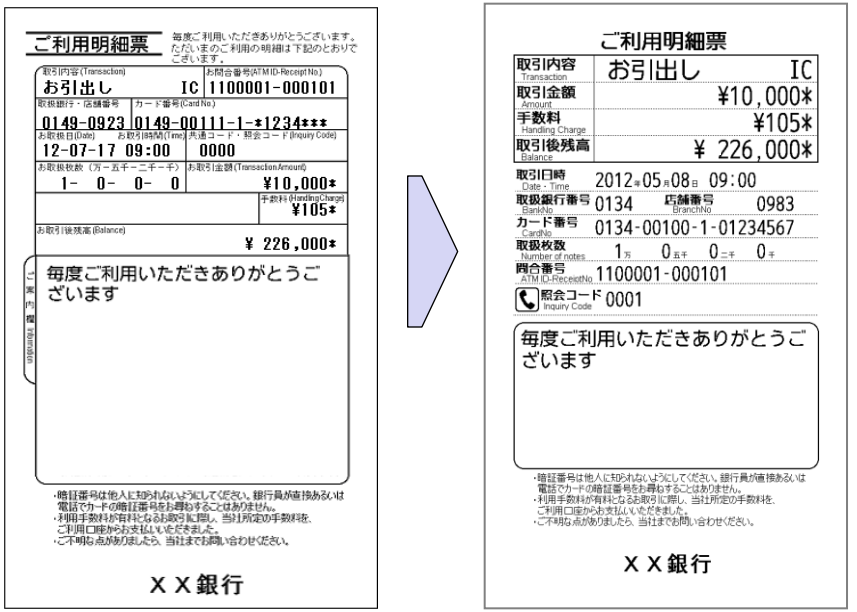
③ より多くの方が利用しやすい **色づかい採用**




## 見やすい明細票

① レイアウトを **お客さま目線で入替えシンプルに**

② 必要な情報は **文字を大きく強調**




注1）2013年5月より順次開始、8月にはすべてのATMに導入予定

注2）上記対応は、預貯金金融機関および証券会社のみ

# 海外送金サービスの早期収益化

- 当社サービスのクオリティや独自性を高め、他社サービスと差別化へ
- 対面営業にプラスして、非対面でのサービス・問合せ対応を充実

2011年度

2012年度

2013年度

3～4年以内に
年間送金件数
100万件超へ

2013年度下期　ATM画面の多言語化対応
カスタマーセンターと同様の9言語にて取引可能に

2013年2月　海外送金カスタマーセンター設置
- 問合せ・申込類の受付・照会等のお客さま窓口を一元化
- 全9言語に対応
（日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語）

© 株式会社セブン銀行

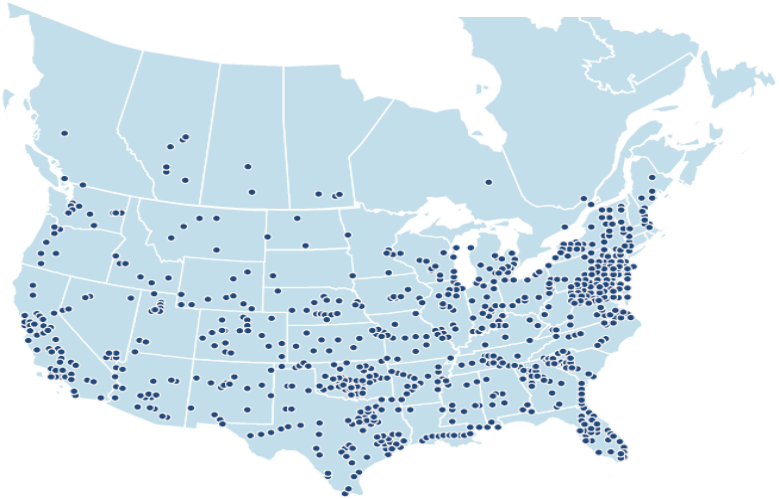
# FCTIの基礎情報

## 基礎データ（2012年12月末）

| | |
|---|---|
| 会社名 | Financial Consulting & Trading International, Inc. |
| 所在地 | 米国カリフォルニア州ロサンゼルス |
| 従業員数 | 38人 |
| ATM台数 | 2,542台 |
| 資本金 | 19百万米ドル |
| 総資産 | 44百万米ドル |

| | |
|---|---|
| 買収金額（取得価格） | 136百万米ドル |

ATM設置場所は北米2,500ヶ所以上



## 事業概要

- **北米での事業展開**
  世界最大のATM市場である米国中心にATM運営事業を展開
- **高い利用件数**
  利用ニーズの高いトラック・ストップ中心にATMを設置
- **高い手数料単価**
  銀行間利用料に加え、ATM自社保有により顧客手数料を獲得
- **低い費用**
  シンプルなATMや少人数での運営によりローコストを実現

## ATMの特徴



- 主に米・韓国メーカーから調達
- 出金専用の安価なATM
- 格納現金の準備は外部委託
  （B/Sの資産としては計上されない）
- 取扱は20米ドル紙幣のみ

© 株式会社セブン銀行

# 損益・主要計数の状況等

- FCTI単体では、13年度経常収益55.8百万米ドル、経常利益2.0百万米ドルと利益確保
- 今後はATM設置台数の拡大により利益幅の拡大を目指す

（単位：百万米ドル）

| | 12年度 通期実績（連結対象期間） | 13年度計画 | |
|---|---|---|---|
| | | 通期 | 上期 |
| 経常収益 | 10.5 | 55.8 | 23.4 |
| 経常費用 | 10.4 | 53.7 | 23.2 |
| 経常利益 | 0.1 | 2.0 | 0.3 |
| 当期純利益 | 0.1 | 2.0 | 0.3 |

注1）12年度通期連結決算には、FCTIの連結対象期間（2012年10月6日～2012年12月31日）のみ連結
注2）計数は全て表示単位未満切捨て

## 主要計数計画

| | 12年度実績（連結対象期間） | 13年度計画 |
|---|---|---|
| 期末ATM設置台数（台） | 2,542 | 3,300 |
| 総利用件数（百万件） | 3.7 | 20.9 |

注1）総利用件数は、FCTIの連結対象期間（2012年10月6日～2012年12月31日）の利用件数

## 連結決算への影響

- のれんの金額は約88百万米ドル（償却期間10年）
- のれん以外の償却が必要な無形固定資産は66百万米ドル（加重平均償却期間12年）

注1）12年度通期連結決算には、FCTIの連結対象期間（2012年10月6日～2012年12月31日）のみ連結
注2）計数は全て表示単位未満切捨て

© 株式会社セブン銀行